強盗役の警察官に脅されながら冷静な対応を訓練した職員ら＝多治見市市之倉町、東濃信用金庫市之倉支店



窓口終了後の強盗想定

東濃信金支店で防犯訓練

多治見市

強盗事件を想定した防犯訓練が13日、多治見市市之倉町の東濃信用金庫市之倉支店で開かれ、窓口終了後に強盗が押し入ってくる万が一の事態に備えた。

訓練は、お金の出し入れが多くなる年末年始を前に、多治見署の協力で毎年実施している。同信用金庫の支店などから合わせて21人が参加した。

模擬拳銃と刃物を持った強盗役の署員2人が、店舗の裏口で職員1人を人質に取った。「手を挙げろ、後ろを向け」「動くなよ」などと職員を脅して金を袋に入れさせた。職員は非常ボタンを押したり、カラーボールを持って犯人役を追ったりして対応した。

訓練終了後、同署の栃井勇太生活安全総務係長が「多くの強盗が下見をして行われる。不審な人を見たら声を掛けるだけでも『周りを見ている店だな』と思わせることができる」と注意を呼びかけた。

（稲木悠司）

無断複製・転載を禁じます